

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和7年4月23日

①学校名:	昭和医科大学		②所在地:	東京都品川区旗の台1-5-8		
③課程名:	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル		④正規課程／履修 証明プログラム:	履修証明プログラム		⑤開設年月日: 2012/7/6
⑥責任者:	看護キャリア開発・研究センター長 増田 千鶴子		⑦定員:	80名		⑧期間: 22日間
⑨申請する課程 の目的・概要:	医療機関や地域における看護職のリーダー育成を目的としたプログラムである。本プログラムでは、5教科目(ヘルスケアシステム論Ⅰ・組織管理論Ⅰ・人材管理論Ⅰ・質管理Ⅰ・総合演習Ⅰ)の講義に対するレポート課題を設定している。論理的思考と論理的表現力の強化を重視しレポート支援では個別指導をする。統合演習は15時間あり、課題テーマについてグループ討議により論理的意見交換を学習する。これらにより、組織管理、質管理、人材育成、危機管理における役割発揮や、慣習にとられない新しい看護サービスの提供方法を提案する能力などを得ることを目指す。看護専門職のリーダーや中間管理職として活躍するために必要な能力を習得する。					
⑩4テーマへの 該当の有無	無		⑪履修資格:	1) 日本国の看護師免許を有する者。2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。3) 管理的業務に関心がある者。1)～3)の全てに該当する者		
⑫対象とする職 業の種類:	看護師・助産師・保健師で管理職を目指す者					
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 組織の中間管理者やリーダーに必要とされる知識、 技能			(得られる能力) ・組織問題の把握と分析能力 ・管理者に必要とされる技能		
⑭教育課程:	ヘルスケアシステム論では、社会保障制度や保険医療福祉制度の体制や関連する法規の知識、組織管理論では、組織マネジメントに関する基礎知識や倫理的意思決定への支援について演習を通して知識や支援技術を習得させる。人材管理論では、労務管理に関する基礎知識やワークライフバランスの推進と課題にコミュニケーションやファシリテーションの演習を通して実践力を獲得させる。資源管理論では、診療・介護報酬制度や経営指標に関する知識を習得し医療情報や情報管理の倫理的課題に関する問題解決能力を習得させる。質管理においては、サービスの基本概念に知識を習得するとともに看護サービスの質評価と改善について演習を通して問題解決能力を習得させる。					
⑮修了要件(修 了授業時数等):	1) 必須教科目の出席時間数が既定の4/5以上(84時間以上) 2) レポート評価がC以上					
⑯修了時に付与 される学位・資格等:	認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講資格、ファーストレベル修了認定					
⑰総授業時数:	120	時間	⑱要件該当授 業時数:	114	該当 要件	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:
					双方向	95%
⑳成績評価の方法:	レポートの評価、統合演習発表の評価					
㉑自己点検・評 価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。学内自己点検・評価委員会が、本プログラムの成果や評価を行い、結果を理事会で検討して自己点検・評価報告書としてまとめ、ホームページで公表する。					
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	研修終了半年後に実態調査を行い、効果を検証する。					
㉓企業等の意見 を取り入れる仕 組み:	(教育課程の編成) 看護キャリア開発・研究センター教育委員会に、外部委員を3名を受け入れ外部からの意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 学内自己点検・評価委員会の内部監査が定役的に実施され改善事項が提示される。日本看護協会認定看護 管理者教育機関の認定更新審査を受けることにより、自己点検・評価を行い、企画などに意見を反映させる。					
㉔社会人が受講 しやすい工夫:	土日開講、夏休み期間の集中開講					
㉕ホームページ:	(URL) https://www.showa-u.ac.jp/education/ns_career/					

事務担当者名:	矢島和美	所属部署:	看護キャリア開発・研究センター
連絡先:	(電話番号) (E-mail)	03-5749-8903 kango-carrier@cmed.showa-u.ac.jp	

- * パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- * 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。